

## 地域医療支援病院における令和元年度の業務報告について

県内に所在する38カ所の地域医療支援病院から、医療法施行規則第9条の2に基づく業務に関する報告書の提出がありましたので、次のとおり報告します。

### 1 承認要件

#### (1) 紹介率及び逆紹介率

全ての地域医療支援病院において満たされていました。

- ア) 紹介率 80%以上 24病院 (63.2%)
- イ) 紹介率 65%以上かつ逆紹介率 40%以上 6病院 (15.8%)
- ウ) 紹介率 50%以上かつ逆紹介率 70%以上 8病院 (21.0%)

#### (2) 共同利用の実績

全ての地域医療支援病院において満たされていました。

##### ア) 円滑な実施のための体制確保

全ての地域医療支援病院において、共同利用に関する運営規定が定められ、共同利用を行う医療機関の登録制度が設けられるとともに、情報の提供、連絡、調整について担当者が決められており、円滑な実施のための体制確保が図られていました。

##### イ) 共同利用の設備、器機等

主に MRI、CT 等の画像診断機器、臨床検査機器、内視鏡検査、手術室等となっており、病院の施設の全てを共同利用としている地域医療支援病院は4病院ありました。

##### ウ) 共同利用に関する情報提供

当該病院のホームページ、広報誌、研修会等を利用して共同利用に関する情報が提供されていました。

##### エ) 共同利用のための専用病床

- ① 10床未満 16病院 (42.1%) (5床 13病院 (34.2%))
- ② 10床以上～50床未満 15病院 (39.5%) (10床 8病院 (21.1%))
- ③ 50床以上 7病院 (18.4%) (343床 田主丸中央病院)

##### オ) 共同利用を行った医療機関延べ数

- ① 1,000件未満 8病院 (21.0%)
- ② 1,000件以上～5,000件未満 22病院 (57.9%)
- ③ 5,000件以上～10,000件未満 5病院 (13.2%)
- ④ 10,000件以上 3病院 (7.9%) (13,992件 済生会福岡総合病院)

##### カ) 登録医療機関の数

- ① 100未満 12病院 (31.6%)
- ② 100以上～500未満 22病院 (57.9%)
- ③ 500以上 4病院 (10.5%) (758 済生会福岡総合病院)

#### (3) 救急医療の提供の実績

救急医療の提供として、以下のア) 又はイ) を満たす必要がありますが、糸島医師会病院を除く37病院 (97.4%) においては満たされていました。

糸島医師会病院については、平成30年度においても要件が満たされていませんでしたが、令和元年度は前年と比べ微増となっています。糸島医師会病院における救急医療の提供の実績及び承認要件を充足するための年次計画を、資料5に添付しています。

##### ア) 救急搬送患者数÷救急医療圏人口×1,000≥2

##### イ) 当該医療機関における年間の救急搬送患者の受入数≥1,000

救急搬送受入患者数の内訳は次のとおりです。

- ① 1,000人未満 2病院 (5.3%)
- ② 1,000人以上～5,000人未満 26病院 (68.4%)
- ③ 5,000人以上～10,000人未満 9病院 (23.7%)
- ④ 10,000人以上 1病院 (2.6%) (10,609人 聖マリア病院)

**(4) 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実施の状況**

全ての地域医療支援病院において、以下のア) からオ) までの要件が満たされていました。

- ア) 必要な図書等を整備し、研修を定期的に行う体制が整備されていること
- イ) 研修プログラムを作成していること
- ウ) 教育責任者及び研修委員会が設置されていること
- エ) 研修のための施設及び設備を有していること
- オ) 年間12回以上の研修

また、研修は、院内及び院外の看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士等の医療従事者に対して実施されており、研修会の主な内容は、地域における疾患等に関するカンファレンスとなっています。研修の回数の内訳は以下のとおりです。

- ① 12回以上～50回未満      26病院 (68.4%)
- ② 50回以上      12病院 (31.6%) (120回 福岡市民病院)

**(5) 地域医療支援病院が設置する委員会の開催の実績**

委員会の開催は、原則、四半期に1回(4回/年)程度開催するよう定められていますが、2病院(福岡東医療センター及び新行橋病院)においては3回となっており、その理由として、新型コロナウイルス感染症患者の対応等で開催できなかった旨の報告がされています。

- ① 3回      2病院 (5.3%)
- ② 4回      36病院 (94.7%)

**(6) 患者相談の実績**

患者からの相談に適切に応じる体制を確保する必要がありますが、全ての地域医療支援病院において確保されていました。相談件数の内訳は以下のとおりです。

- ① 1,000件未満      1病院 (2.6%)
- ③ 10,000件以上      13病院 (34.2%) (28,533件製鉄記念八幡病院)

**2 任意的に求められる取り組み**

**(1) 病院の機能に関する第三者評価**

38病院中34病院において、以下の第三者評価を取得されていました。4病院(福岡東医療センター、福岡大学筑紫病院、遠賀中間医師会おんが病院、北九州市立八幡病院)については、新型コロナウイルス感染症の影響により、日本医療機能評価機構の認定受審が延期になった旨の報告があります。

- ① (公財)日本医療機能評価機構による認定      32病院 (84.2%)
- ② ISO9001等の取得      4病院 (10.5%)
- ③ 日本医療機能評価機構の受審予定      4病院 (10.5%)

**(2) 果たしている役割に関する情報発信**

全ての地域医療支援病院において、ICTを用いた病診連携が図られており、また、とびうめネットの加入についても全て加入されていました。

- ① ICTを用いた病診連携等の提供  
あり      38病院 (100%)
- ② とびうめネットの参加  
あり      38病院 (100%)

**(3) 地域連携を促進するための取り組み**

全ての地域医療支援病院において、地域の医師会と連携のもとに策定されたクリティカルパスを運用されていました。運用されている主なクリティカルパスは次のとおりです。

- ・ 大腿骨頸部骨折
- ・ 脳卒中
- ・ 癌

**(4) その他(地域の看護学校実習生に係る受け入れ状況)**

全ての地域医療支援病院において、地域の看護学生の実習生を受入れられていました。